

那須岳の噴火警戒レベル

予報警報	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等 への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	・火砕流、融雪型泥流が居住地域に切迫している、あるいは到達。また噴石が概ね 4km 程度の範囲に飛散する噴火が切迫、あるいは発生 【過去事例】 1410 年：ブルカノ式噴火発生、その後火砕流が約 8km 流下、泥流の発生
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。	・小～中規模噴火が頻発し、火砕流、融雪型泥流（冬季の場合）が居住地域まで到達するような噴火、または噴石が 4km 程度の範囲まで飛散するような噴火の発生が予想される 【過去事例】 1408～1410 年：水蒸気噴火が頻発
火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備。 登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	・山頂付近から中規模噴火が発生し、半径 2.5km 程度まで大きな噴石が飛散 【過去事例】 1881 年：水蒸気噴火発生 ・中規模噴火の発生が予想される 【過去事例】 観測事例なし
	火口から少し離れた所までの火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	・山頂付近から小規模噴火が発生し、半径 1.5km 程度まで大きな噴石が飛散 【過去事例】 事例なし ・小規模噴火の発生が予想されるごく小規模の噴火 【過去事例】 1953 年の噴火
噴火予報	火口内等	1 (平常)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	・火山活動は静穏、状況により山頂火口内及び一部火口外に影響する程度の噴出の可能性あり 2009 年 2 月現在の状態

2009 年 3 月 17 日現在の状態

() ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとする。